

○ 申告書の提出日又は発送日を記入してください。資産の所在は南魚沼市です。

○ 6 と記入してください。

★マイナンバー記入欄★
3. 個人番号、または法人番号を記入してください。

4. 事業種目を記入してください。法人の場合は資本金を記入してください。

5. 事業開始年月日を記入してください。

6. 直接の担当者の氏名及び電話番号を記入してください。

7. 受託税理士等の氏名、連絡先を記入してください。

【申告書 記入例①】

1. 所有者の住所
住所又は納税通知書の送付先（ふりがな）、電話番号、ビル名等の方書きを記入してください。

2. 所有者の氏名
氏名又は法人名を記入してください。法人の場合は代表者名、商号等を記入してください。押印不要

○ 当市の電子計算機で計算しますので、記入の必要はありません。ただし、自社電算機で処理して申告する方は記入してください。（帳簿価額は記入の必要はありません。）

令和 年 月 日 南魚沼市長 殿

令和 年度 償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※所有者コード(住民コード)

26号様式(提出用)

1 住所 (ふりがな) 東京都千代田区丸の内1丁目1-1 (又は納税通知書送達先)

2 氏名 (ふりがな) 東京工業株式会社 東一郎 (個人にその氏名を記入する場合は姓のみを記入してください)

3 個人番号又は法人番号 個人番号は個人番号12桁 法人様は法人番号13桁 個人事業主様は個人番号12桁

4 事業種目(資本金等の額) 精密機械製造業 (3,000)百万円

5 事業開始年月 昭和32年4月

6 この申告に回答する者の氏名 南魚太郎 (電話03局0000-0000番)

7 税理士等の氏名 南魚太郎 (電話03局0001-0005番)

8 短縮耐用年数の承認 有・無

9 増加償却の届出 有・無

10 非課税該当資産 有・無

11 課税標準の特例 有・無

12 特別償却又は圧縮記帳 有・無

13 税務会計上の償却方法 定額法・定額法

14 青色申告 有・無

資産の種類	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物				
2 機械及び装置	679 050 000	12 030 000	7 430 000	674 450 000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具	34 570 000	9 420 000	11 510 000	36 660 000
6 工具、器具及び備品	125 754 100	1 230 300	3 210 000	127 733 800
7 合計	839 374 100	22 680 300	22 150 000	838 843 800

15 市[区]町村内における事業所 南魚沼市六日町100

16 借用資産 有・無 ユーロ・リース株式会社

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付書類等) 種類別明細書(増加用)3枚 種類別明細書(減少用)3枚

1000BCX01

8~14. は該当する事項に○を付けてください。

15. 所在地
資産の所在地を記入してください。2箇所以上ある場合は、それぞれを記入し、主たる番号に○印を付けてください。

16. 借用資産
借用資産の有無について該当に○を付けてください。有りの場合は貸主の名称を記入してください。

17. 所有区分
該当に○を付けてください。

18. 備考
添付した書類の名称及び枚数を記入してください。納税管理人を定めている場合は、その者の住所、氏名を記入してください。
※異動がない場合は、「異動なし」と記入してください。

○ 前年前に取得したもの(イ)
令和5年1月1日現在取得合計(前年度申告書の計の金額(ニ))を種類別に記入してください。

○ 前年中に減少したもの(ロ)
令和5年1月2日から令和6年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を、種類別に記入してください。

○ 前年中に取得したもの(ハ)
令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を、種別に記入してください。

○ 今年度の償却資産の計(ニ)
令和6年1月1日現在の償却資産の取得価額の種類の計を記入してください。
(ニ) = (イ) - (ロ) + (ハ)

○ 6 と記入してください。 ○ 取得年月を記入してください。資産を取得(購入、製作等)した年月を記入してください。年号は、明治・1、大正・2、昭和・3、平成・4、令和・5としてください。

○ 所有者名 氏名又は法人名を記入してください。

○ ページ数 明細書ごとのページ数とその内の何ページか記入してください。

○ 適要 課税標準の特例の場合は「特例」と記入してください。省令改正により耐用年数を変更する場合は「省令改正」と記入し改正前の年数を記入。

【申告書 記入例②】

今年初めて申告される方は、令和6年1月1日の全資産を記入してください。

- 資産の種類
- 1.構築物
 - 2.機械及び装置
 - 3.船舶
 - 4.航空機
 - 5.車両及び運搬具
 - 6.工具及び備品の該当する数字を記入してください。

種類別明細書(増加資産・全資産用)

令和 年度		所有者コード		所有者名		枚のうち							
		住民コード		東京工業株式会社		3 枚のうち							
						2 枚目							
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年 月	取得価額 千円	耐用年数	減価償却率	価額 千円	課税標準の特例 率 コード	課税標準額 千円	増加事由	摘要
01	2		モーター	1	4 16 10	1300000	12					①	3-1
02	6		エアコン	2	4 16 5	1000000	6					①	3-2
03	2		溶接機	1	4 16 7	900000	10					①	3-3
				小計		22150000							1000BCX02

※(資産の種類欄には、下記の区分番号を記入してください。)
 番号 種類区分 番号 種類区分
 1 構築物 4 航空機
 2 機械及び装置 3 車両及び運搬具
 3 船舶 5 工具、器具及び備品

注意「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

○増加事由欄外の理由を参考に該当する番号に○を付けてください。

*この欄は記入する必要はありません。

○ 資産コード 記入する必要はありませんが、各事業所で整理番号等必要な場合は8字以内で記入してください。

○ 資産の名称等 品名、規格、形式等を30字以内で記入してください。20字をこえるときは目盛りを無視してください。

○ 数量 個数、面積、距離等を記入してください。単位は、不要です。

○ 取得価額 資産を取得するための金額(運賃、荷役費、手数料等含む)を記入してください。圧縮記帳は地方税法上で認められないので圧縮前の取得価額で記入してください。

○ 耐用年数 減価償却耐用年数に関する省令に掲げる耐用年数を記入してください。

○ 6 と記入してください。 ○ 取得年月を記入してください。資産を取得(購入、製作等)した年月を記入してください。年号は、明治・1、大正・2、昭和・3、平成・4、令和・5としてください。

○ 所有者名 氏名又は法人名を記入してください。

○ ページ数 明細書ごとのページ数とその内の何ページか記入してください。

○ 適要 減少した事由により売却先の名称、減失理由、移動先等を記入してください。その他必要事項を記入してください。

【申告書 記入例③】

- 資産の種類
- 1.構築物
 - 2.機械及び装置
 - 3.船舶
 - 4.航空機
 - 5.車両及び運搬具
 - 6.工具及び備品の該当する数字を記入してください。

種類別明細書(減少資産用)

令和 年度		所有者コード		所有者名		枚のうち					
				東京工業株式会社		3 枚のうち					
						3 枚目					
行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月 年 月	取得価額 千円	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分 1売却 2減失 3移動 4その他	1全部 2一部	摘要
01	2	10	溶接機	1	3 60 11	2 100 000	8		① 2・3・4	① 2	
02	2	14	コンクリートカッター	3	3 56 8	150 000	8		① 2・3・4	① 2	
03	6	18	応接セット	1	3 52 6	240 000	8		①・② 3・4	① 2	
				小計		22 680 300					

○減少事由及び区分 減少した事由を該当する番号に○を付けてください。

○ 資産コード 添付の種類別明細書(一覧表)より減少した資産の品目番号(1点No.)を記入してください。

○ 資産の名称 減少した資産の名称を記入してください。

○ 数量 減少した資産の数量を記入してください。

○ 取得価額 減少した資産の取得金額を記入してください。資産の一部が減少した場合は、当該資産の減少した部分に対応する取得価額で記入してください。

*耐用年数を記入してください。